

【広島県安芸高田市】

校務 DX 計画

文部科学省による「GIGA スクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」の提言や、文部科学省が示した「GIGA スクール構想の下での校務 DX 化チェックリスト」による自己点検の結果等を踏まえ、教育委員会及び学校における校務 DX を推進するため、次に掲げる事項を重点的に推進する。

1. クラウドサービスの活用

学校と保護者間の情報伝達についてはクラウドサービスの活用が進んでいる一方、児童生徒への各種連絡、学校内の教職員間の連絡事項及び情報共有については、大きな進展は見られなかった。

このことについては、教職員向け研修会等においてクラウドサービスの活用方法について周知したり、他自治体の活用事例を紹介するなどして、校務の効率化・教職員の負担軽減を図る。

また、後述する校務支援システムのクラウド化においても、教職員間のコミュニケーションの迅速化・活性化が期待できる。

2. 校務のペーパーレス化、押印の見直し

現在、学校において民間事業者及び一部の市関連施設との間で、FAXによる連絡が行われている。

また、保護者や外部とのやり取りにおいて、未だ多くの書類に押印を求めている状況である。

これらは校務の効率化・ペーパーレス化の大きな阻害要因になっているため、FAXからクラウドツール等への移行を推進すると共に、押印の見直しに取り組む。

3. 校務支援システムのクラウド化

現在、導入している校務支援システムはオンプレミスで稼働しているが、「GIGA スクール構想の下での校務の情報化に関する専門家会議」で提言された「GIGA スクール構想の下での校務 DX について」では、次世代校務 DX の方向性として、校務支援システムのクラウド化、校務系・学習系ネットワークの統合などが示されている。

以上の事を踏まえ、現行の校務支援システムの更改のタイミングにおいて、クラウド化へ移行する事により、校務のロケーションフリー化など、教職員 1 人 1 人に合わせた柔軟な働き方を可能とする。

また、ネットワークにおいてゼロトラストに基づくアクセス制御を前提とした情報セキュリティ対策を講じた上で、導入・構築を進める。